



地域福祉・ボランティアセンターだより

# てるぼ通信

編集・発行

社会福祉法人 市川市社会福祉協議会  
地域福祉・ボランティアセンター

所在地：市川市東大和田1-2-10

連絡先：047(320)4002

暑い日が続いていますが、皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。夏本番となりましたので、屋内外に関わらず、日頃からこまめな水分補給を心がけましょう。

さて、今回のてるぼ通信は、能登半島に災害派遣で支援を行なった職員の体験談をお届けします。

## 『何でも相談してね』の一言から始まる今日一日

～災害ボランティアセンター運営支援～

市川市社会福祉協議会 コミュニティソーシャルワーカー 杉村 恭子



令和6年4月12日から18日まで、千葉県派遣チームの一員として、能登半島にある穴水町社会福祉協議会が運営する「穴水町災害ボランティアセンター」へ支援におもむきました。

被災地支援は初めてだったため不安もありましたが、被災地に入り、現地の悲惨な状況を目の前にしたとき、「自分にできることを精一杯なくては」という思いが強くなり、不安な気持ちはすぐなくなりました。



被災地における、一般ボランティアの方々の主な活動内容は災害ゴミの片づけや運搬などです。そのような活動をボランティアの方々が安全・安心にできるよう支援することが、災害ボランティアセンターの機能の1つです。

現場では、多くのボランティアの方々が、家の中の家財道具を軽トラックいっぱい積み、それを災害ゴミ集積所まで運び、また戻って片づける…を繰り返していました。なにかの役に立ちたい、誰かの助けになりたいという気持ちのもと、みんなで声をかけ合いながら、汗だくになって活動されていました。

今回、私が行なった業務は、建築士の大山氏と一緒に、そのようなボランティアの方々が安全に活動できるよう、倒壊の可能性がある家屋の現地調査をすることでした。

大山氏は「地元の福島県で隠居生活をしようと思っていたけど、被災地の状況を見て、いてもたってもいられなかった。復興のために建築士として頑張りたい」と愛犬と共に被災地入りしたボランティアの一人でした。行く先々で「おはよう！自宅は大丈夫？何でも相談してね」と住民の方たちに積極的に声かけをし、相談に応じていました。

能登半島の派遣期間中は、コンビニのおにぎりを食する生活が続いていましたが、活動中に余った炊き出しを食べさせていただく機会があり、数日ぶりに温かいうどんを食べた時にはとてもおいしく、思わず笑顔があふれると同時に被災者の方々の思いを実感する瞬間でした。

現地調査の際は「この土地でこの先も生活をしたいけど、先がみえない…」など、さまざまな相談がありました。被災地の状況を目の当たりにしたうえで、このような不安の声を聴き、早く復興を進めなくては、という思いに駆られました。

しかし、なかなか思うように進まないのが現状で、福祉の専門職である社会福祉協議会の組織的かつ継続的な支援が引き続き必要であると痛感しました。今後も支援の輪を広げていきたいと思ひます。



## ベルマークで子どもたちの教育環境を豊かに!!

## ～私たちにできること～

ベルマークとは、食品や文房具など様々な商品のパッケージに付いている小さな赤いベルのことです。ベルマーク運動は「すべての子どもに等しく、豊かな環境の中で教育が受けることができる」ことを目的として1960年に始まりました。2021年以降、SDGsへの意識の高まり、特に目標4「質の高い教育をみんなに」に関連して、この運動が再注目されています。

ベルマーク運動は、集めたベルマークを「ベルマーク教育助成財団」に送ると、1点あたり1円として「ベルマーク預金」が積み上がり、この預金を利用して教材や設備品などを購入することができるという仕組みです。

また、ベルマークが付いた商品の購入金額のうち10%が自動的に寄付され、遠隔地の学校や特別支援学校、被災地の学校支援などのために使われます。資金を提供しているのは、商品を販売している「協賛会社」、たまったベルマーク預金に応じて備品を販売している「協力会社」です。詳しくは下記のビデオをご覧ください。

「仕組みと流れ」：<https://www.bellmark.or.jp/about/flow/flow.htm>



### 個人として参加してみませんか？

集めたベルマークを、本運動に参加している近隣の学校や団体、あるいは回収箱を設置している公民館やスーパーに持って行くことで、活用してもらうことができます。

「千葉県の回収拠点」：<https://www.bellmark-schoolmilk.jp/alupa/recycle/result/chiba.html>



現在は「ウェブベルマーク」からも参加することができます！ウェブベルマークとは、ネットショッピングでベルマークをもらうことができ、支援したい学校、被災校を選ぶことができる仕組みです。

詳しくは「はじめての方へ」：<https://www.webbellmark.jp/webbellmark>



## ボランティアさん募集情報

活動内容	活動日・頻度	施設名	場所	問い合わせ
障がい児の見守り	週1回～15時～18時の間	放課後デイ ホップ	鬼越	 地域福祉・ボランティアセンター
手芸、書道、美容系など	週1回～14時～15時	デイサービス だんらんの家 市川	下貝塚	
子ども見守り、準備手伝い	第3土曜日 12時～15時	子ども食堂 きずなレストラン	鬼越	
話し相手、園芸	週1回～(時間応相談)	市川三愛	柏井町	
車いす整備	週1回 10時～16時の間	地域福祉・ボランティアセンター	東大和田	
書道、絵手紙、将棋、花札	月1～2回 13時～15時	いきいきの家 市川	原木	
墓地清掃のお手伝い	月1回 10時～12時	第4レンコンの家	下新宿	
音楽演奏、話し相手	月1回程度(時間応相談)	デイサービス ちえか村	行徳駅前	行徳ボランティアセンター

今年の秋も開催予定!!

**【たすけ愛ボランティア講座】**  
(ボランティアスクール)

市川市社会福祉協議会のInstagram・LINEから詳細情報を入手することができます。ぜひフォローをお願いします！



インスタ



LINE

### 編集後記

皆さまが一步を踏み出すきっかけになれば！という思いを込めて作成しました。こちらに掲載している募集情報は、ほんの一部です。何か活動してみたいと思ったら、ボランティアセンターまでお問い合わせください。

※てるぼ通信は、多くの皆さまの手に取ってもらえるよう、市内各所で配布しているボランティア情報誌です。

お問い合わせ先 市川市社会福祉協議会 ※お気軽にお問い合わせください！

**【地域福祉・ボランティアセンター】**

住所：〒272-0026 市川市東大和田 1-2-10

電話：047 (320) 4002

開所時間：月～金 8:40～17:40

※土日祝祭日、年末年始はお休み

Eメール：vc@fukusi.jp

**【行徳ボランティアセンター】**

住所：〒272-0121 市川市末広 1-1-31 (行徳支所 2階)

電話：047 (356) 0007

開所時間：月～金 9:00～17:00

※土日祝祭日、年末年始はお休み

Eメール：gyoutoku-vc@fukusi.jp

ホームページは  
こちらから→

